

みどりの風

Noseiren Dayori Midori no Kaze

2 月号 No.230

発行／熊本県農業者政治連盟

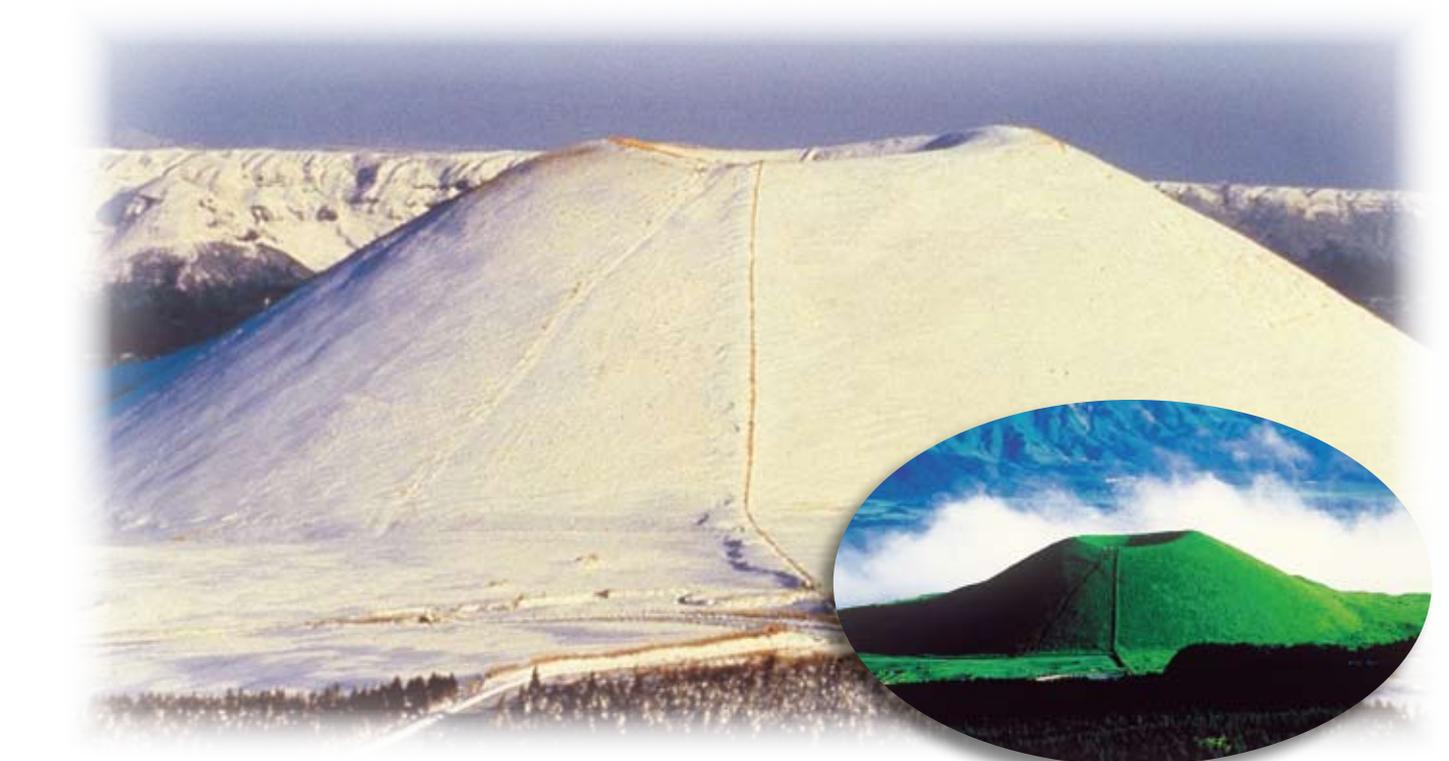
JA 熊本県会館内 熊本市南千反畑町2-3

電話 096-328-1284

編集責任者 木村 幸孝

発行／毎月1回 15日発行

平成9年7月4日第三種郵便物許可



冬の米塚（阿蘇市：写真提供 熊本県）

阿蘇登山道のそばにある標高954mの小山、山頂のへこみは火口丘の跡である。昔、健甕龍命（たけいわたつのみこと）が収穫した米を積み上げて出来たものであり、頂上のくぼみは、命が貧民に米を分け与えたなごりとの伝説がある。

主な内容

- ・農政連総支部・支部事務局員研修会を開催
- ・県産の農畜産物消費拡大と農業への理解を
- ・ガンバッテいます：高濱友章さん、谷口裕子さん
- ・各連合会からのお知らせ

や
や
ら
い
さ
い

一体、これは何だろうと呆れてしまう。あれだけ、社会から指弾を受けながら、またも繰り返すとは。

一月三十日、大相撲十両力士の若麒麟が、大相撲取締法違反の容疑で、東京六本木の音楽関係会社の事務所で行方不明逮捕された。若麒麟は、平成十一年春場所で初土俵を踏み、幕内を三場所務め、十両に転落していたが、角界の人気力士でもあった。

昨年八月、ロシア出身の幕内力士若の鵬が大相撲所持の疑いで逮捕された。更に抜き打ち大相撲検査で、同じくロシア出身の露鵬、白露山兄弟から陽性反応、解雇となっている。

若麒麟は、昨年の大相撲検査で判断がつかず、再検査で陰性となったが、「疑惑」は残った。本人の弁では、大麻の使用は、前日この日の「二回」だけだとするが、逮捕時に所持していた乾燥大麻十六mgの量からすると、かなり以前から常習していたのではないかと指摘されている。

昨年の事件以降、日本相撲協会は警察OB等を役員に招き、再発防止を目指してきたが、まったく機能していないに等しい。今回、協会は若麒麟の解雇を決定したが、理事長をはじめ協会幹部の危機感は乏しいと聞く。

こうした状況に、塩谷文科相も、「これだけ度重なると、今までの状態ではすまない。改善命令をするかもしれない」と、厳しく指摘した。

今年の初場所は、徐々に両横綱が揃い、千秋楽で優勝決定戦が行われるなど、大いに盛り上がった。しかし相変わらず、土俵上での力士のマナーの悪さなど、苦しいも残る場所でもあった。

日本相撲協会は、国技という伝統と相撲人氣に胡坐をかき、相撲を愛する熱心な支援者に背を向けることだけはやっつけろ。

農政連総支部・支部事務 局員研修会を開催



▲熱心に聴く研修会会場での事務局員

1月9日、JA教育センターにて農政連総支部・支部事務局員70余名の研修会を開催した。

研修会は、県農政連事務局長木村幸孝氏の「農政連組織の機能強化について」、続いて菊池地区総支部事務局長平嶋洋一氏から「農政連菊池地区総支部の活動について」の実践報告がありました。その後、JA全中農政部農政課長の金井健氏から「農業の現状と農政

課題について」と題しての講演で研鑽を積んだ。

農政連組織の機能強化について (要約)

農政連総支部、支部の組織を強化し、組織活動を活発化させることは、組合員の意識を高め、農協への結集を強めることであり、農協運動の強化につながる。

地域によっては、総支部・支部での活動が不十分なところもあり、このために支部等の「地域農政」活動を強化するためにも事務局体制の強化が喫緊の課題である。

総支部・支部の活動強化について

1. 総支部では、農政報告会(国・県)や農政要請のための懇談会(要請集会等)を定期的で開催し、要請活動を強化する。
2. 総支部ごとに年間活動内容をチェックして、問題点・課題を抽出するとともに、その課題解決のために、総支部(支部)ごとに開催する。
3. 盟友、生産部会、青壮年部、女性部また職員や事務局員の研修会を総支部・支部単位で開催し、農政活動へ

の理解促進を図る。

さらに行政機関、並びに専門機関を招いて農政学習会を開催する。

4. JAにおける組合員化と連携し、青壮年部、女性部員及び地域住民等幅広く農政連盟友の加入を積極的に推進する。

5. 県の助成要領に基づいた、環境保全運動、地域農政活動強化対策(食の安全・安心のアピール活動等)、農政学習会等を実施する。

6. 消費者等、農業者以外の地域の住民へのPR活動を図る。(食の安全・安心のアピールと理解促進に努める。)

平成20年6月17日 農政連組織改革検討委員会答申(抜粋)



▲農政連組織の強化について話す木村局長



農政連菊池地区総支部の活動について(要約)

平成19年度の農政連菊池地区総支部の組織活動について実践活動が報告された。

当総支部は、菊池支部をはじめとして8支部に分かれており総盟友数7,250名で構成されています。8支部ごとに総会、各支部でWTO農業交渉街宣活動、地域イベント、行政への要請活動などを行った。

また、地域農政活動強化対策として日本農業新聞を招いて農政研修会、青壮年部活動として空き缶・ビン投げ捨て防止運動。国政報告会では山田参議院議員を呼んで国政の動きについて報告をいただいた。さらには農政活動への理解促進を図るための啓発チラシを作成、組合員に配布するなど組織の強化に努めた。

特に、8月20日には、農業危機突破大会を開催、大会アピールを採択した。

大会アピール

1. まず自らの経営を見直し更なる経営の効率化をすすめる。
2. 食料自給率の向上と生産者の経営安定化の実施。
3. 飼料・燃油・肥料等生産資材高騰に対する影響緩和策の実施。
4. 食の安全・安心への取り組みの強化。

農業の現状と農政課題として(要約)

◆国産農畜産物増産・自給率向上に向けたJAグループ基本戦略について次の事項を基に農業生産額の拡大、自給率50%の具体化、国際化に対応した政策の確立、新たな農産物貿易ルールの確立の4点を基本に今後検討していきたい。

- 食料・農業・農村基本計画の見直しにより、あるべき農業・農村を実現
- 国内の農業資源を最大限活用し、食料供給力の強化による食料の増産
- 生産コスト増大に着目した抜本的品目政策の確立と、生産者の経営安定の確保
- JAグループの役割強化
- 国民合意に基づく政策の確立
- 世界的な食料需給の構造変化
需給価格が大きく変動しており、現在は、落ち着いているが、今後必需給価格の変動が続く見込みである。
- 国際的な環境変化の影響
国際的な金融危機と不況 原油価格の動向 穀物価格の動向 配合飼料の動向、肥料価格の動向 海上運賃の動向 禁輸措置(輸出規制) WTOの動き

◆2007年の参議院選挙において、民主党が議席の過半数を獲得。このため国会はねじれ国会の様相を呈し、速やかな法案の成立が困難な状況である。

◆金融機能強化法は、民主党の主張により付帯決議に「貸出等の金融業務の実施に際しては、厳正な政治的中立性を確保することが」盛り込まれた。また、民主党は、11月12日の「次の内閣」閣議において「特定の政党のために利用してはならない」とする条文を盛り込んだ農協法改正案を了承し、25日に参議院に提出した。

◆政治的中立は、協同組合の原則と規定されていたが、1966年のICA(国際協同組合同盟)における原則の改定において削除した。



▲実践報告をする平嶋洋一氏



▲熱弁を振るう金井健氏

県産の農畜産物消費拡大と農業への理解を

JAグループ熊本は、3ヶ月間の「街頭辻立ち演説」で訴える。



▲味覚フェアでのテープカット

料・農業問題への理解促進を訴える「街頭辻立ち演説」の終了式を12月26日に経済連本館前で行った。街頭辻立ち演説は、熊本市水道町交差点で朝の通勤時に市民へ「食料・農業への理解を」と訴えて3ヶ月間、延べ56日、参加職員410名。

終了式は、「全職員による辻立ち演説は、食料・農業問題への理解促進で大きな成果があった」とJA中央会園田俊宏中央会会長の挨拶ではじまり、「この経験を生かして今後とも頑張つてほしい」と上村幸雄JA熊本経済連会長が激励の言葉を述べて終わった。



▲園田俊宏 JA 中央会会長の挨拶

街頭辻立ち演説の終了を前に、12月20、21日「味覚フェア」食料・農業理解促進街頭活動」を展開した。園田俊宏JA中央会会長は、「安全・安心な県産農畜産物を消費者に味わってほしい」と挨拶。8JAと経済連などが参加して果実、米、野菜などを提供、先着100名様へのプレゼントや抽選会など大盛況でした。

街頭活動ではWTO農業交渉やみんなのよい食プロジェクトのチラシと一緒に新米を配り通行人に「食料・農業への理解を」と訴えた。

10月から実施してきた県民への食

JAあしきた青壮年部

JAあしきた管内の地域は、熊本県の南部に位置し不知火海の海岸線に沿って北から、芦北町・津奈木町・水俣市の1市2町で構成されています。主な農畜産物は、果樹（甘夏・デコポン・マンゴー等）・畜産（あしきた牛等）・稲作（大関米等）・野菜（サラたまちゃん等）・花卉（アイリス等）・特産（みなまた茶等）

【支部構成】

田浦支部 12名 芦北支部 15名
津奈木支部 16名 水俣支部 10名

【部長挨拶】

「小さなJAの大きな挑戦」これは、JAあしきたが掲げるスローガンです。

我々青壮年部も熊本県下で一番小さな青壮年部（盟友53名）です。しかし、小さくても大きな「青壮年部」を目指し、地域農業の担い手となるような活動展開をして行かなくてははいけません。

まずは農家戸々の所得アップは勿論、芦北地域農畜産物の知名度アップ・盟友のさらなる一致団結と活性化・盟友が作る農産物が消費者へ届き食卓を飾る喜び、これらを念頭におき活動展開を進めていこうと考えています。

また、我々の抱える問題点も多く、あと何年農業を続ける事が出来るのか
本当に農業を次世代へと繋げる事が出来るのか
我々盟友の将来は…

地域農業の未来のために青壮年部組織として何が出来るのか

これらの問題点はすぐに解決出来ることではありません。一つ一つ地道に「検討・実践・反省」の繰り返しから何らかの解決策が見つかると思います。これらを「盟友、そしてJAが」一致団結し、地域住民を取り込んで活動することが必要と考えます。

よって、次世代の子供たちの為になるような活動を行なっていきますので、JAあしきた青壮年部を宜しくお願いします。

【活動紹介】

200名の小学生在、「サラたまちゃん」(水にさらさず、そのまま生で食べられる辛みの少ないタマネギ)を収穫体験とサラ玉食べ放題。みんな、血液サラサラ



◀その後、……新発売の「飲むサラたまちゃん」で乾杯。更に、血液サラサラ



◀田植えの楽しさから、収穫の喜びまで350名が参加体験しています。



◀女性部員と合同で、自分達の作った農畜産物・女性加工品・JAオリジナル商品を、青壮年部の盟友で宣伝販売してきました。



高濱 友章さん
JA熊本うき



●果樹栽培を始めて20年

宇城市三角町は、三角港フェリーターミナル（海のピラミッド）、特産品では、温州みかん、デコポン、海産物が有名。

高濱さんは、昭和三十八年七月生まれ、東海大学農学部果樹研究室（阿蘇校舎）で専門的に勉強し卒業論文を書くため、松橋果樹試験場まで通いながら実験・研究など熱心に取り組んだ」と懐かしく話されます。

本格的にみかん作りを始めて、ちょうど20年、家族とともに温州みかん2.0ha、中晩柑2.0haを栽培しています。

●昔から柑橘生産地として有名

宇土半島は北の河内、南の昔北の中間地であり、西南暖地の立地条件に恵まれた柑橘生産地の一つになっています。

温州みかんは9月頃から、デコポンは1月中旬から、JA熊本うきに出荷しています。

現在、柑橘部会の支部長としてJAと協力しながら、部会員との勉強会や情報交換に精を出すなど活躍しています。

●きびにブランド化を

「高品質の柑橘を作るために栽培樹木を制限、作業道を作って農家の消費や摘果などの作業軽減をすすめるなど、質の向上と労働環境の改善に努めながら、JA熊本うき（三角）ブランドをさらに広めていきたい。今年は、表年であり価格が低落することが予想されます。表年・裏年対策作業管理を徹底して、市場での大きな価格変動が起きないように、輸出も含め販売先の開拓や販売時期の調整など経営の安定化に努めていきたい」と話されます。

●消費者が求めるみかんを

温州みかんについては、高品質果実生産のためにマルチ栽培に取り組んでおり、増糖と着色効果をめざして頑張っています。人気のデコポン栽培にも力をいれており、選果場では、一個ずつ丁寧にキスがなにか外観を調べ、光センサーで酸度と糖度を検査して出荷しています。農業の楽しさも厳しさも味わってきた高濱さん。「これからも生産者として、おいしいみかんを一生懸命作りたい。消費者に喜ばれる安全で安心なみかんを、どんどん食べていただきたい。」と笑顔で語られました。

谷口 裕子さん

JAたまなフレッシュミズ玉名市支部



▲築山支所ふれあい食材センター前にて

●鹿児島から玉名へ

谷口さんは、生まれも育ちも鹿児島県、実家は養鶏農家でした。

十年前に現在のご主人と知り合い、結婚と同時に来熊。平野一面に広がる田畑と、上空でさえずるヒバリの声がとても印象的だったそうです。

現在では三人の子供に恵まれ、ご主人の両親と一緒に暮らしています。

●トマトの収穫は手入れ次第

谷口さん宅では、施設園芸栽培のトマト四十五a、デコポン三十三a、米約二haを栽培しています。

谷口さんはトマトの手入れと収穫を担当しています。ハウスの中と外の激しい温度差や、中腰での作業で体調を崩すことが多いとのこと。

「お義父さんから「収穫は結果。大事なのはそれまでの手入れと教えられました。手入れがうまくいって、形の良い実が出来るとうれしいです。」

また、規格外のトマトで作ったソースは、子

供達に好評です。もっと美味しくなるように日々研究中です。

●将来の夢は？

谷口さんは農業以外にも頑張っている事があります。それは、簡単なメンタルケアの勉強です。

「きっかけは娘が入院した時でした。カウンセリングやマッサージなどの緩和ケアに助けられました。将来は農業をしつつ、カウンセリングも出来るようになりたい。」

●フレッシュミズでの活動

谷口さんは、一年前に熊本県フレッシュミズ部会の玉名地区代表に就任されました。

「たくさんの人と知り合えて勉強になりました。会議、集会では女性部の方々から、よく手作りのお茶請けをいただき、そのもてなしの心に驚かされました。」と話されました。

フレッシュミズ玉名市支部では、現在十三名の会員で活動しています。

年間計画は、いまままでに好評だった活動、やってみたい活動を取り入れながら作成しています。

今年度は、調理実習、親子参加のお菓子作り、夫婦参加のライフプラン講習会などを行いました。

●今後の期待と抱負

谷口さんは、今後の抱負として、「農家にしか出来ない、農家ならではの活動をしていきたい。」と話されました。

仕事も勉強もおろそかにしない姿勢が印象的でした。

初の新規就農者農産物フェア開催

「日本の農業は私たちにご期待ください」をスローガンに、「新規就農者農産物フェア」が26日、熊本市繁華街で初めて開かれました。

主催はJ A熊本中央会・連合会営農生活センター。毎年、熊本県内で農業をやりたい人を全国から募集して実施しているJ A農業インターン事業で、1ターンや2ターン等で2005年から08年までに新規就農した希望者15人（女性は3名）が参加しました。全国でも非常に珍しい。

出店者は自ら作った自慢の農産物を初めて直接対面で販売した。とれたての新鮮なイチゴや野菜類、米、ジャム等加工品、総菜など所狭しと並べられ、緊張した面持ちで、消費者に呼びかけていました。



▲緊張した面持ちで対面販売する新規就農者たち。

J A阿蘇の三森伸治さんが最優秀賞

「第56回熊本県家の光大会」

第56回熊本県家の光大会が1月15日宇城市で開かれ、愛読者ら700人が参加しました。家の光記事活用体験発表では、8名が出場するなか、「実現する！夢のかたち」と題して発表したJ A阿蘇の三森伸治さんが最優秀賞に輝きました。男性の最優秀賞は初めて。表彰は次のとおり

◇中央会表彰：「家の光特別普及表彰」J A菊池・J Aあまくさ、「家の光12月号優待表彰」J Aたまな、J A菊池、J A熊本うき、J Aあまくさ、「ちやべりん」特別表彰では、J Aたまな・J A阿蘇・J Aやつしろ

◇家の光協会表彰：「地上普及功労者（組合長）表彰」J A阿蘇・J Aくま、J Aちやべりん普及功労者表彰「J A菊池・J A本渡五和
◇中央会・家の光協会表彰：J A熊本「みゆき」・J Aたまな「ひばり」の会」



▲最優秀賞に輝いた三森さん

M i w e b (全農農機システム) の活用研修会

J A熊本経済連は1月20日、合志市のJ A教育センターで、M i w e b (全農農機システム) の活用研修会を開催し、導入予定の県内の農機センターよりおよそ50名が参加しました。「M i w e b」は、農機センターの運営に必要な顧客管理情報・業務日報や部品検査等を管理するシステムで機能の有効活用のため、操作技術向上による事務の効率化を図ることを目的に開催。まず、同連合会の農機燃料部農業機械課より、M i w e b や顧客管理の重要性について説明を行いました。

また、このM i w e b システムの有効活用を実践している、J Aあまくさの上島農機センター福田泰久主任より優良取組事例の発表がありました。同センターは、平成16年よりこのシステムを導入しており、5年になります。発表した福田主任によると、「M i w e b」による顧客管理により、組合員への対応が即座にでき、満足度の向上につながっている。今後活用方法を増やしていきたい。」とのこと。

また、顧客台帳登録などM i w e b の入力演習や、効果的なパーツリストの検索なども行いました。

J A 植木まつり開幕

「熊本に春を農に夢を感動発見!!」

くまもとの春の訪れを告げる緑の祭典「J A植木まつり」が1月24日、合志市の熊本県農業公園カントリーパークで始まりました。

J A熊本経済連、県内J Aの主催で昭和51年に始まり今年で34回目。会場には、県内の11J Aからマキ・梅・松などの庭木をはじめ、洋ラン・パンジー・シクラメン・ハーブ・盆栽などの花鉢苗物、趣向を凝らした庭園、地域自慢の特産品など約120万点が出品、展示即売します。また、スタンプラリーなど、楽しいイベントも予定しています。

開催期間は2月23日(月)まで。入場無料。開催時間は午前9時から午後5時までで期間中は無休。J A植木まつり事務局(電)096(242)7152。



▲一足早い春の訪れにファンで賑わう植木まつり。

JAバンク

JAマイカーローン輪軸スプリングキャンペーン2009

平成21年2月2日(月)～3月31日(火)
 熊本県内JAでは、平成21年2月2日～3月31日までの2カ月間「JAマイカーローン輪軸スプリングキャンペーン2009」を実施しています。

マイカーを購入予定の方、買い替えを検討されている方、期間限定金利のお得な「マイカーローン」で、あなたの欲しかった車を手に入れませんか？

キャンペーン期間中、JAでマイカーローンを申し込まれた方に、年2.4%（固定金利型）の優遇金利を適用いたします（注）。さらに給与振込のご利用がある場合は、年0.3%、JAカードのご利用がある場合は年0.1%優遇いたします（最優遇金利年2.0%（固定金利型））。

JAマイカーローン商品概要

保証機関	熊本県農業信用基金協会	三菱UFJニコス(株)・(株)ジャックス
ご利用いただける方	・組合員または組合員になれる方 ・借入申込時年齢18歳以上、最終償還時71歳未満の方 ・勤続(営業)年数および区内居住年数が1年以上の方 ・年収が正組合員150万円以上、准組合員200万円以上の方	・継続して安定した収入がある方 ・原則として借入申込時年齢20歳以上65歳以下の方 ・原則として勤続年数が1年以上、または2年以上の営業実績を有する方 ・三菱UFJニコス(株)または(株)ジャックスの保証を受けられる方
お使いみち	自動車・バイク購入(中古車を含む)、点検・修理、車検、購入に付帯する諸費用、共済(保険)掛金に必要な資金、他金融機関等の自動車資金の借換に必要な資金(営業用自動車は対象外とします)	自動車購入のための資金(中古車を含みます)、購入時に必要な税金、保険、カー用品
お借入限度額	500万円以内(1万円単位)(所要金額の範囲)	10万円以上300万円以内(1万円単位)(所要金額の範囲)
お借入期間	6カ月以上7年以内	
保証人・担保	原則不要 20歳未満の借入者は法定代理人を連帯保証人とします。	
ご返済方法	元利均等返済で次のいずれかの方法 ①毎月払い ②毎月払いと半年賦払いの併用 ③半年賦払い ※③については農業者のみ。	元利均等、元金均等で次のいずれかの方法 ①毎月払い ②毎月払いと半年賦払いの併用 ③半年賦払い
保証料	正組合員 年0.55% 准組合員 年1.10%	(株)ジャックス:年1.50% 三菱UFJニコス(株):年1.50%

*ローンのご利用は、JA所定の資格・要件を満たす方に限らせていただきます。
 *店頭にて返済額の試算を承っております。
 *ローン商品の詳しい内容については、店頭に説明書をご用意しております。
 *審査の結果、ローン利用のご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。
 *JAマイカーローンをご利用中に、繰上げ返済を行う場合や返済条件を変更する場合には、別途JA所定の手数料(最大5,250円:税込)が必要となることがあります。詳しくは、JAにお問合せください。

また、自動車購入資金はもろろんのこと、点検・修理や他金融機関等の自動車資金の借換に必要な資金にもご利用いただけます。

更に、JA共済連熊本よりキャンペーン期間中にマイカーローンをお借入れいただいた方で「自動車共済にご加入」された「JA共済しあわせ夢くらぶ会員」の方に抽選で20名様に「オムロン体脂肪計」をプレゼントします(後日郵送)。ぜひ、この機会をお見逃しなくご利用ください。なお、詳しくはお近くのJAへおたずねください。

(注)・平成21年3月31日までにお申込みいただき、かつ平成21年4月30日までに借入れされた場合の適用金利です(お申込時か実行時のいずれか低い方の金利が適用されます)。
 ・2月2日現在の店頭金利は年5.0%以内、各JAで異なります。
 ・適用金利は金融情勢等の変化により見直しさせていただきます。ご了承ください。

JA共済連

初春をJA共済が駆け抜ける!

第26回熊日郡市対抗女子駅伝に協賛

JA共済が協賛している「第26回熊日郡市対抗女子駅伝」が1月25日(日)、熊本市上通町のびぶれす熊日会館前を発着点に、上益城郡益城町下小谷を折り返す7区間30kmのコースに19チームが出場して行われました。熊本市チームが1時間41分1秒で、3年連続8度目の優勝を果たしました。2位には1時間41分18秒で天草市チーム、菊池郡市チームが1時間41分44秒で3位に入りました。

最優秀選手には、4区で2年連続区間賞を記録し、2度目の受賞となる、熊本市チームの池田絵里香選手が選ばれました。優秀選手は、1区で区間新記録を出した天草市の田中友里絵選手。躍進賞は、昨年17位から14位に順位を上げた水俣市チームが受賞しました。

本大会は、熊本県内の女子長距離選手の育成と底辺の拡大を目的に、昭和58年から毎年開催され、今年で26回目を迎える伝統ある大会となっています。これまでも松野明美選手や川上優子選手ら数多くの全国レベルのランナーを輩出し、沿道の熱心な応援風景とともに熊本の初春を飾る風物詩として欠かせないものになっています。

JA共済は、これからも地域に密着



▲熊本市チームが8度目の優勝



▲びぶれす熊日会館前をスタートする選手たち

した活動を展開し、組合員・利用者へのNo.1の安心と満足の提供を目指してまいります。

あじがわ

● ぶくいくたる梅の香り、梅が咲き出すとなんとなく春の訪れを感じます。吉祥の花「梅」にあやかりたいものですね。



二月に咲く花【梅】

ウメの名は、中国語の「梅（メイ）を（ン）メ」と発音、転訛して読まれるようになったとのこと。

吉祥の象徴として松竹梅が使われているが、植物3界の代表に加えて隠花植物のウラボシ科を入れると慶事に使う植物が揃う。

日本では、松竹梅に序列があるように思われていますが、元々、中国で画題に使われていたもので、単に語感からきたものと思われまます。

また、江戸時代、各藩が非常食として奨励したこともあり、梅をシンボルとしているところが各地で見受けられます。

(花ことば) 高潔な心
バラ科/落葉高木/中国長江

● 盟友の皆様のご意見や 周辺地域の話題、写真等、各地区の総支部・支部（J A本・支所）へお寄せいただければ幸いです。

連絡先 熊本県農政連

電話 096-1328-11284

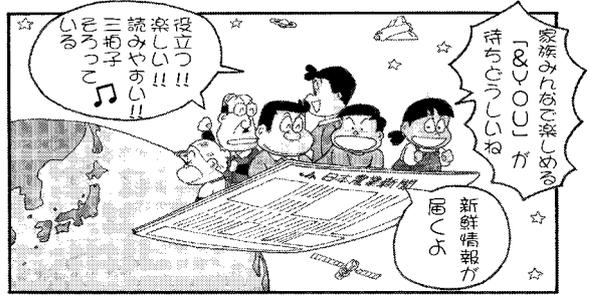
FAX 096-1328-15807

食と農 ひらく未来へ確かな目



「食と農のかけ橋」面を創設

食のニーズ、消費者の声を正しくとらえて産地へ価値ある情報を発信します。月曜日から金曜日まで終面カラーで届けます。



紙面を刷新▶情報を素早く分かりやすく

役立つ情報を毎日▶農産物市況予測を充実・農業の実用記事を満載・気象見通しを強化

JAグループ
日本農業新聞

購読のお申し込みはJAへ 定価1か月2,550円 JA熊本中央会

JAバンク熊本

カーライフをリニューアル。資金はJAバンクがお応えします。

安全ドライブ、安心ローンのJAバンク。

JAマイカーローン

車の購入、買い替えをお考えの方は、お近くのJAバンクでお気軽にご相談ください。

JA共済

もっと仲良くなってください。

「ひと・いえ・くるま」の保障をまとめる「しあわせ夢くらぶ」。うれしい特典が、もりだくさん!

プラス割引 共済掛金がおトクに
しあわせ特典 施設利用やお買い物などの優待割引

JA共済
しあわせ
HAPPY & DREAM CLUB
夢くらぶ

詳しくは、JA共済ホームページ (<http://www.ja-kyosai.or.jp>)、またはお近くのJA(農協)へ。
■みんなにサンキューキャンペーン実施中! <http://www.3qja.jp>

08481050157

熊本の元気な農業を応援したい

22 熊本県中古農業機械大展示会

行って見てください!

たくさんの中古農業機械が一堂に勢揃い!

熊本県中古農業機械大展示会

期: 3月5日(木) 5日(金) 6日(土)

場: 熊本県農業公園となり 合志市東

主催: 熊下JA・JA熊本経済連
熊本県農業機械商協同組合

協賛: 熊本県